

# 大雪山国立公園ビジョンを実現するための 大雪山国立公園の“新たな”協働型管理運営体制

## 概要版

# 大雪山国立公園ビジョン

### 大雪山国立公園連絡協議会

**目的** 大雪山国立公園ビジョンの実現（方針、計画等の検討又は策定を含む）  
大雪山国立公園の保全及び適正な利用を推進するための事業の実施 など → 多様な関係者が協働した管理運営  
大雪山国立公園地域の健全な発展

**関係行政機関**  
環境省北海道地方環境事務所  
北海道上川総合振興局 北海道十勝総合振興局  
富良野市 上川町 東川町 美瑛町 上富良野町 南富良野町  
士幌町 上士幌町 鹿追町 新得町  
上川中部森林管理署 上川南部森林管理署  
十勝西部森林管理署東大雪支署  
北海道開発局 北海道運輸局



**観光協会**  
(一社) 層雲峡観光協会 (一社) ひがしかわ観光協会  
(一社) 美瑛町観光協会 (一社) かみふらの十勝岳観光協会  
(一社) ふらの観光協会 NPO法人南富良野まちづくり観光協会

**交通事業者**  
(株) りんゆう観光 ワカサリゾート(株)  
道北バス(株) 旭川電気軌道(株)  
十勝バス(株) 北海道拓殖バス(株)

**自然保護団体**  
大雪と石狩の自然を守る会 十勝自然保護協会

**研究者**

**<主な取組>**

- 関係者・関係団体  
大雪山国立公園利用者  
周辺地域住民  
とのビジョンの共有
- 利用者が国立公園の  
管理運営に参加するしくみ  
(協力金など)の確立
- 利用体験の質の向上  
(利用拠点の目的地化  
ストーリー磨き上げ  
利用拠点のエコ化)
- 大雪山国立公園管理運営計画の検討  
(ビジョン実現のための  
アクションプラン)
- 大雪山国立公園  
携帯トイレ普及宣言の  
推進
- 利用者向け情報発信

事業のうち、登山道の荒廃に関する課題解決については、部会が担う。取組結果は、総会で報告

### 表大雪地域登山道維持管理部会

### 東大雪地域登山道維持管理部会

**関係行政機関**  
北海道地方環境事務所 上川中部森林管理署 上川南部森林管理署  
北海道上川総合振興局  
富良野市 上川町 東川町 美瑛町 上富良野町 南富良野町

**維持管理関係団体 利用・環境教育関係団体**  
NPO 法人アース・ウィンド NPO 法人かむい  
NPO 法人大雪山自然学校 勤労者山岳連盟(道央地区)  
合同会社北海道山岳整備/一般社団法人大雪山・山守隊  
山楽舎 BEAR 層雲峡ビジターセンター 大雪山倶楽部  
大雪山国立公園パークボランティア連絡会 TREE LIFE 富良野山岳会  
北海道山岳ガイド協会(表大雪地区)

**自然保護関係団体**  
大雪と石狩の自然を守る会 山のトイレを考える会

**調査・研究関係** 他 オブザーバー団体

**関係行政機関**  
北海道地方環境事務所 十勝西部森林管理署東大雪支署  
北海道十勝総合振興局  
士幌町 上士幌町 鹿追町 新得町

**維持管理関係団体 利用・環境教育関係団体**  
NPO 法人ひがし大雪自然ガイドセンター  
合同会社北海道山岳整備/一般社団法人大雪山・山守隊  
山楽舎 BEAR 新得山岳会 大雪山国立公園パークボランティア連絡会  
十勝山岳連盟

他 オブザーバー団体

**<主な取組>**

- 登山情報の  
一元的な発信  
登山者の利便性向上！  
遭難防止！
- 登山道の管理強化  
(非管理区間の解消)  
施設の老朽化対策  
山岳地域の荒廃解消！
- 登山道補修の技術向上  
補修情報の蓄積と共有  
新たな登山道管理  
モデルの構築へ！



大雪山国立公園が目指す姿  
「まもり、活かし、つなげよう みんなでつくる、世界を魅了する大雪山国公園」  
を実現するため、新たな組織ができ、大雪山国立公園ビジョンができました。





まもり、活かし、つなげよう

みんなで作る、世界を魅了する大雪山国立公園

## 大雪山国立公園の価値と歩み

### ○優れた価値

日本でここだけにしかない広大で原生的な山岳景観



多様な景観要素・高い生物多様性  
〔高山植物、高山蝶、ヒグマ等大型哺乳類等〕  
〔柱状節理、滝、温泉、湖、周氷河地形等〕



温泉利用、登山などの利用価値

⇒多様な観点から高い評価  
(天然記念物、森林生態系保護地域、日本遺産など)

### ○これまでの歩み

調査研究や保全のさきがけ  
・石狩川上流霊域保護国立公園経営の件  
建白書(霊山碧水など)  
・大雪山調査会による学術研究と活用

大規模開発と  
自然保護の調整



価値を損なわない範囲での  
持続可能な利用がテーマへ

・大雪山グレード  
・大雪山国立公園  
携帯トイレ普及宣言



## 現状と課題

### ○気候変動

紅葉色づきの低下、  
ササの増加、  
降水量の増加



### ○人口減少と高齢化、 ライフスタイルの変化、 価値観の多様化

### ○外国人利用者の増加



### ○山岳地域の荒廃

①保全上の課題  
植生の変化、地形地質の侵食



②利用上の課題  
施設の荒廃と老朽化、  
し尿の問題、情報提供、  
利用者間、利用者・管理者の軋轢  
登山道の荒廃



### ○利用拠点の低迷

①体験型利用の取組  
旅行形態の変化への対応不十分  
資源の発掘、評価、  
ストーリー化が必要



②情報提供  
体験型利用にアクセスするための情報発信  
多言語による情報提供

地域の誇りとなり、世界の人々を魅了する山岳国立公園にするために！

## 大雪山国立公園の目指す姿

### ①大雪山の自然環境が守られ、 より豊かになった国立公園

- 山岳地域・・・大雪山グレードに応じた保全  
〔植生、地形や土壌の回復、植生変化への対応、外来生物対策〕
- 山麓地域・・・多様な景観要素の保全  
〔峡谷と柱状節理、湖、滝、温泉など〕

### ②魅力を活かし、質の高い利用体験ができる国立公園

- 山岳地域・・・大雪山グレードに応じた管理と利用  
〔登山道荒廃の解消、案内板や誘導標識整備、し尿問題解決、  
新たな利用形態により生ずる問題の解決〕
- 山麓地域・・・利用体験の質の向上  
〔利用拠点の目的地化、ストーリー磨き上げ、利用拠点のエコ化〕

### ③つながっていく国立公園

- 来訪者に向けた情報発信
- 大雪山国立公園に関わるすべての人々に向けた価値の発信

### ④みんなが協働して管理運営する国立公園

- 協働型管理運営体制の維持
- 管理運営への利用者の参加、周辺地域との連携
- みんなが学び成長し、将来世代へ引き継ぐ国立公園

大雪山国立公園90周年(2024年度)に向けて取組加速  
10年後、2030年にビジョン達成状況の評価

※ビジョンは、大雪山国立公園  
管理運営計画に位置づけて実行